

特集「移動と記憶の日中比較研究」の紹介

南 誠(長崎大学)

本特集に掲載された諸論文は、2013年2月22日～24日に長崎大学片淵キャンパスで開催された国際シンポジウム「移動と記憶の日中比較研究」で発表された内容を基にしている。

国際シンポジウム「移動と記憶の日中比較研究」は、科学技術人材育成補助金(テニユアトラック普及・定着事業)の支援を受けて、長崎大学水産・環境科学総合研究科のテニユアトラック助教南誠(筆者)がコーディネーターとして、香港大学王向華教授と兵庫教育大学首藤明和教授のご協力・助言を受けながら、企画開催されたものである。日本国内だけではなく海外(中国大陸と香港、台湾)からも研究者を招へいし、移動と記憶に着目した計18の研究成果が6セッションに分けて報告された。プログラムの詳細は下記の通りである。なお本特集を組むにあたり、ご都合によりご寄稿頂けなかった方もいる。

国際シンポジウム

移動と記憶の日中比較研究

日 時： 2013年2月22日(金)～24日(日)

場 所： 長崎大学 片淵キャンパス本館11番講義室

主 催： 長崎大学重点研究課題「東アジア共生プロジェクト」

2013年2月22日(金) 09:30～17:20

09:30～09:45 開会挨拶 南誠(長崎大学)・首藤明和(兵庫教育大学)

09:45～11:45 司会：葉柳和則(長崎大学)

浅野慎一(神戸大学)

ポスト・コロニアルの東アジア：国内労働力流動化とナショナリズム

王明珂(国立中興大学)

土地、遷移と歴史記憶：蔵彝ロードの二つの社会形態に関する分析

首藤明和(兵庫教育大学)

在村の潮流からみる明治期日本のハイブリッドモダンの生成と展開：ハイブリッドモダンの日中比較に向けて

13:00～15:00 司会：浅野慎一(神戸大学)

呂方(華中師範大学)

社会移動と地域農業知識の変遷：湘西苗族地域の考察に基づいて

福田恵(東京農工大学)

近代日本における山村社会の移動とネットワーク：林業移動の事例から

鄭南(吉林大学)

回族コミュニティの復興と社会移動：事例研究から

15:20～17:30 司会：首藤明和(兵庫教育大学)

王向華(香港大学)

ある種の社会会議としての歴史：香港の歴史を例として

山本真（筑波大学）

20世紀前半、福建省福州、興化地区からの南洋移民とその社会的背景：キリスト教徒に着目して

芦恒（吉林大学）

「中国式」貧民区とその内在的特性の分析：東北長春市D棚戸区の形成を事例に

2013年2月23日（土） 09:30～15:00

09:30～11:30

司会：孫江（静岡文化芸術大学）

陳蘊茜（南京大学）

香君の魂は何処へ：遊女から政治シンボルとしての李香君

葉柳和則（長崎大学）

ヘテロトピアとしての端島/軍艦島と表象のポリティクス

李恭忠（南京大学）

康熙と孝陵

13:00～15:00

司会：福田恵（東京農工大学）

孫江（静岡文化芸術大学）

記憶の耐えられない重さ：陶保晋およびその家族の南京

胡恒（南京大学）

虐待を受ける空間：重層する記憶、隠蔽と回復

南誠（長崎大学）

日本人満洲移民の移動と記憶

2013年2月24日（日） 09:30～12:00

09:30～11:00

司会：南誠（長崎大学）

汪宏倫（台湾中央研究院）

東アジアの戦争感情と民族意識：社会学理論の視角から

朱興涛（東北師範大学）

郷村社会記憶の蘇生と農民行為選択への影響：ある郷村合作社の歴史と現在についての考察

高橋明善（東京農工大学名誉教授）

地域別に見た家の解体と、農家の離農離村：高度成長終焉期に至る農村変動

11:00～11:50 総合討論 司会：首藤明和（兵庫教育大学）・南誠（長崎大学）

11:50～12:00 閉会挨拶 首藤明和（兵庫教育大学）・南誠（長崎大学）

*使用言語：日本語、中国語（日中/中日通訳付き）

*この国際シンポジウムは、科学技術人材育成補助金(テニュアトラック普及・定着事業)の支援を受けています。

*長崎大学重点研究課題「東アジア共生プロジェクト」とは、長崎大学重点研究課題「持続可能な東アジア交流圏に向けた人文・社会科学のクロス・オーバー：「共生」概念の学際的統合にもとづいて」の略称である